

● 令和6年度 研修会 『こどもの感染症・小児がん』 ●

講師：広島大学病院 薬剤部 佐伯 康之先生

広島大学病院 小児科 川口 浩史先生

実施日時：令和7年1月18日（土）14：00～15：45

会場：オンライン配信（ZOOM開催）配信会場：広島大学病院臨床管理棟

対象者：保育・教育関係者

参加者：12名（養護教諭2名、保健師2名、保育士2名、医師1名、薬剤師1名、
保育教諭1名、大学院生1名、看護師1名、MSW1名）

担当：広島市

●講演内容

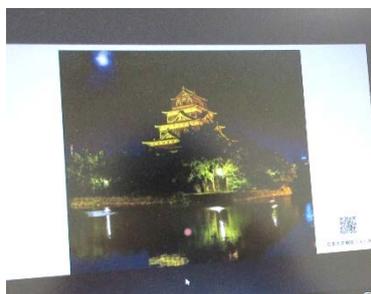
講演1

- ① 薬剤耐性を取り巻く状況
- ② 学校における感染対策
- ③ インフォデミックを知る



講演2

- ① 子どものがん
- ② 治療後のこと
- ③ よくある質問
- ④ 最近の話題



●アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「疾患管理中の児童の健康管理に役立てたいから」

「「感染症を正しく恐れよう」というテーマに興味があった為」

「医療現場から離れこども園での勤務が7年経つため、最近の情報を得ることが出来ればと思った」

「病弱児支援に興味があったから」

「業務担当分野だったため」

「テーマに興味があったから」

「勤務先が小児科であることから、感染症対策や小児の病気のことを学びたいと思いました」

「特に感染症についての知識を深めたかった」

「専門的な知識を得て活用するため」

「医師の講義を受けることで、最新の情報が知れると思ったから」

<感想>

「お忙しいなかありがとうございました」

「専門的な学びを得る事ができました。ありがとうございました」

「現在、当園には小児がん治療後の園児はいませんが、今後入園したり発症する可能性もあるため、参考にさせていただきました」

「以前小児病棟に勤務しており、小児がん等骨髄移植の症例に多く関わらせていただいていた。もう少し深掘した内容が欲しかったと個人的には思いました（参加者が全員そのような環境ではないと思うのですが・・・）」

「感染症対策について、改めて考えると知らないことや、分かっているようでわかっていないことばかりでした。大変勉強になりました」

「小児がんについても、知識が全くないので貴重なご講義を聴くことができました。ありがとうございました」

●相談員より一言

昨年度に続いて参加申し込みは少なかったのですが、少数ながら熱心な保育・教育関係者の参加があり、感染症が猛威を振るうこの時期、大変有意義なお話を聞くことが出来ました。小児がんは学校では触れ合うことの少ない疾患かもしれませんが、情報をお持ちいただくことでいざという時に対応して頂けるのではないかと思います。参加人数は多くありませんでしたが、感想も多くいただき関心の高さがうかがえました。

